

ボランティア紹介

多治見点訳友の会

墨字(活字)を点字に翻訳し、視覚障がい者に情報を提供する活動を行っています。書籍や行政文書の点訳、総合福祉センターの自動販売機の飲料名の点訳表示、点字カレンダーの製作のほか、小中学校で点訳体験の指導を行っています。点訳した本(点字本)は、図書館や学校に寄贈しています。

点訳には、点字器とパソコンを使う方法があります。点字器による点訳は、従来から用いた方法で、点字器で紙に1つ1つ文字を打っていく方法です。パソコンによる点訳は、パソコンと点訳ソフトを使い、点字プリンタで印刷します。現在は、パソコンの普及や点訳ソフトの開発が進み、主にこの方法で活動しています。

毎週水曜日の午前10時から正午、毎月第3木曜日の午後7時から9時に、総合福祉センター(太平町)で活動しています。

※点字は6点(縦3点、横2点)で構成し、日本語や数字、英語などを表します。



パソコンによる点訳活動の様子

問い合わせ 多治見市ボランティアセンター 電話(25)1131 <担当>古山

東北民謡河野会

福祉施設や地域の交流会で、本場津軽三味線と東北民謡を披露する活動をしています。三味線の伴奏に合わせ、花笠音頭や外山節などの民謡を、みなさんと手拍子や合いの手を入れながら歌います。歌詞を大きく書いた紙を張ったり、三味線の伴奏で唱歌を歌ったりするなど、みなさんが楽しめるように、工夫して活動しています。

活動の依頼は、下記まで連絡ください。



福祉施設で活動する様子

問い合わせ 多治見市ボランティアセンター 電話(25)1131 <担当>古山

多治見のお元気さん

今月のお元気さんは、坂上町の大嶽光代さん(77歳)です。

子どもたちとのふれあいを大切に、地域の児童館を訪問しています。

体力づくりに散歩を欠かさない大嶽さんは、散歩の途中に児童館に立ち寄り、子どもたちと折り紙や切り絵、おしゃべりなどを行い、楽しく交流しています。子どもたちからは、「みっちゃん」の愛称で慕われ、みっちゃんがない日は、子どもたちが心配するほどです。

地域の子どもたちとの交流を生きがいに、元気に過ごすことに心掛けています。



障害者福祉センター 俳句コーナー

燕の巣 ひなは育って どこへ行く
荻原 敦

鉢植えの 小さなバラが 匂ひけり
池尾 義雄